

右の内千噸以上鐵船建造中のもの

造船所名				造船所名			
建造中	計	建造中	計	建造中	計	建造中	計
原田造船所	二	(一、九〇〇)	一	(六、三〇〇)	宮内造船所	〇	(一、〇〇〇)
本津川造船所	一	(一、一五〇)	一	(二、八五〇)	新田造船所	三	(三、六〇〇)
大原造船所	〇	(一、〇〇〇)	一	(一、〇〇〇)	千歳造船所	四	(五、〇〇〇)
本津川船渠	一	(一、〇〇〇)	一	(一、〇〇〇)	佐野造船所	〇	(二、〇〇〇)
大東工業	一	(一、〇〇〇)	四	(四、六〇〇)	信貴造船所	二	(二、〇〇〇)
藤永田造船所	五	(一、〇〇〇)	四	(一、〇〇〇)	關西造船所	二	(二、〇〇〇)
松州造船所	二	(一、〇〇〇)	七	(九、一〇〇)	吉備造船所	二	(二、六〇〇)
名村造船所	二	(一、〇〇〇)	〇	(一、〇〇〇)	大國造船所	〇	(三、一〇〇)
小野造船所	二	(四、四〇〇)	二	(四、六五〇)	旭造船所	二	(四、五六〇)
新堂造船所	二	(一、〇〇〇)	二	(二、〇〇〇)	相澤造船所	一	(一、〇〇〇)
藤岡造船所	一	(一、〇〇〇)	三	(一、二〇〇)	大興鐵工所	八	(四、三〇〇)
藤岡造船工所	二	(三、五〇〇)	三	(四、五〇〇)	計	八	(七、五三五)
大興造船工所	八	(八、四〇〇)	七	(九、三〇〇)	計	一七	(一七、八一九)
造船所名	建造中	計	建造中	計	造船所名	建造中	計
東田造船所	一	(一、〇〇〇)	一	(一、〇〇〇)	濱邊造船所	一	(一、〇〇〇)
備前商會	一	(一、〇〇〇)	二	(二、〇〇〇)	關西造船所	一	(一、〇〇〇)
計	一	(一、〇〇〇)	二	(二、〇〇〇)	計	一	(一、〇〇〇)

本船造船所 (千噸以上)

造船所名	建造中	計	造船所名	建造中	計
關本造船所	一	(一、五〇〇)	宮城屋造船部	一	(一、〇〇〇)
神戸造船所	一	(一、〇〇〇)	計	一	(一、〇〇〇)
計	二	(二、五〇〇)	計	一	(一、〇〇〇)

(三) 總括

本邦造船業は大正四年末の設備に基き計算するに其の最大能力を發揮したる場合に於ける一箇年の造船能力は約四十萬噸なりき然るに昨年来造船界の好況に連れ斯界は頗に勃興し殊に大阪を中心とする關西地方にては昨年七八月頃より本年八九月頃迄に新設せられたる造船工場數十を越へ本年十月末現在に於て大阪市及び附近の造船所七十五箇所に達し殊に注目すべきは鋼材の暴騰と供給不足の爲に木船建造者漸く多く現に此の七十五箇所の内木船造船所は三十二箇所に上り其の建造中の木船は六十五隻總噸數四萬三千三百五十噸、計畫中のもの三十一隻二萬三千噸に上り此の形勢は將來に於て更に著しからむとす。

而して現時全國造船能力を綜合すれば一箇年五十萬噸を下らざるべし。
現に大正五年度に於て實際進水したる一千噸以上の船數三十九隻總噸數十四萬二千九百九十四噸、又本年に入りては既に九月末迄に四十七隻二十萬八千二百七十七噸を進水せしめ尙最近逓信省調査に依れば現に造船獎勵法に依り認許證を有する千噸以上の鋼船二十五隻十二萬九千六百噸を算す此内七萬噸を年内に進水せしめ得るものとすも今年度の新造船總噸數は二十七萬噸に上るべく以て一箇年最大造船能力を五十萬噸と見積るの不可ならざるを推し得べし唯茲に造船材料供給の問題あり目下内國製品を以て全部需要に應